

令和5年度 総合的な探究の時間 全体計画

学校教育目標				
校訓「進取 友愛 節度」のもと、高い志を持ち、変化の激しい社会において、自らの未来を切り拓き、「地域共生社会」の担い手となる人材を育成する。				
学校教育目標に基づいた育てたい生徒像				
「国際平和文化都市『広島』をフィールドとした学びにより地域社会の発展に貢献し続ける人物」				
育てたい9つの資質・能力（9C）				
主要3分野		9つの資質・能力		
地域や社会の課題を見出す力	・情報収集力（①）	・情報分析力（②）	・発信力（③）	
正解のない課題に向き合い続ける力	・自分力（④）	・思考力（⑤）	・行動力（⑥）	
協同して課題を解決する力	・調整力（⑦）	・連携力（⑧）	・実践力（⑨）	
総合的な探究の時間の目標				
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。				
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。				
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。				
各学年の学習内容				
《探究スローガン》 自分の【好き】を究め、社会に貢献する美高生！				
学年	第1学年	第2学年	第3学年	
単位数	必修1単位	必修1単位	必修1単位	
学年テーマ	《地域社会×自分》	《現実社会×自分》	《未来社会×自分》	
	【自己理解を深める】	【他者と協働する】	【人生を探究的に振り返る】	
	【探究基礎力をつける】	【探究基礎力を探究へ活かす】	【探究を進め、未来へ継承する】	
	【興味関心から探究する】	【興味関心を進路探究へつなげる】	【進路探究を進路実現に役立てる】	
	【地域の魅力を発見する】	【地域の課題を発見し分析する】	【地域の課題解決に貢献する】	
関連行事	・平和探究講演会（平和観を深化する）		・探究発表会（1, 2年次3学期、3年次1学期に実施）	
評価体系	・単元ごとのルーブリック評価・専門家や地域の人による評価		・Ai-grow（非認知能力計測テスト）等による資質・能力評価	
年次目標	・探究の基盤となる自己理解を深め、探究的な思考や探究の基本型を活用することができる。 ・自分の興味関心のあるトピックを探究的な思考で分析し、自分なりに考察することができる。 ・自分の住む広島市域について学び、その魅力に気づき、他者に発信することができる。	・実際の社会課題を見つけ出しながら、その課題を現状がより良くなるように解決できる。 ・1年時に学んだ探究の基礎を活用して思考を深めることができる。 ・他者と関わり合いながら探究を行うことができる。	・探究発表会を節目として実際に地域や他者に還元し、課題解決のために行動できる。 ・他者に対して、これまでの探究とその過程を自分の言葉で語ることができる。 ・新たな問いをもち、今後のキャリアにつなげることができる。	
学習の具体	キャリア探究Ⅰ（9C:③⑤⑨） 【好き】探究プロジェクト ☆探究の型を学び、自分の興味関心を深掘して、探究的な思考で深めていく。また、探究することや自分の探究を他者に発信することが面白いと思えるようになる。	キャリア探究Ⅱ（9C:①⑥⑧） 修学旅行プロジェクト ☆修学旅行を題材として東京での進路別フィールドワークで希望進路の最先端の状況を知り、自身のキャリアイメージを具体化し、進路実現に向けた意欲を高める。	キャリア探究Ⅲ（9C:②④⑨） マイヒストリープロジェクト ☆高校三年間を振り返り、これまでの自分の在り方を客観的に見つめる。その上で、今後の人生において自分はどうのように生きていくかを前向きに考える。	
	平和探究Ⅰ（9C:①⑥⑦） 平和探究講演会Ⅰ 平和探究フィールドワーク☆戦争によって変わった人々の営みや被爆の実相を各々が問いを持ち、自律的に平和について探究していく。	平和探究Ⅱ（9C:①⑤⑨） 平和探究講演会Ⅱ 平和について研究している専門家の話を聞くことで、自身の平和観を深化させる。1年次の平和探究Ⅰにさらに知識や思考を積み重ねる。	平和探究Ⅲ（9C:①⑤⑨） 平和探究講演会Ⅲ 平和について研究している専門家の話を聞くことで、自身の平和観を深化させる。2年次の平和探究Ⅱにさらに知識や思考を積み重ねる。	
	地域探究Ⅰ（9C:①⑤⑨） 地域魅力発信プロジェクト ☆自分たちが住む広島市域について、様々な角度から学び、広島市域の魅力について理解を深め、その魅力を他者に発信する。また、その過程で気づいた課題についても考える。	地域探究Ⅱ（9C:②⑤⑨） 地域課題発見プロジェクト ☆1年次に見つけた課題や、修学旅行での学びを軸にして、希望進路とその分野が抱える地域課題を見つける。その課題をどのように解決することができるのか道筋を立てる。	地域探究Ⅲ（9C:③⑥⑧） 地域課題解決プロジェクト ☆2年次に見つけた広島市域の抱える課題を解決するための道筋を軸として、実行に移した上で一連の課題解決の過程を他者に説明する。また、今後につながる新たな問い（探究課題）を見つける。	
学習形態・外部連携	指導方法	指導体制	学習の評価	教科・科目等との関連
・探究分野別などの学年を超えた縦割りを活用する。	・ワークショップなど生徒が主体的に参加する形を重視する。	・各クラスTTを活用し、生徒の探究へのフィードバックを行うなど支援体制を充実させる。	・9つの資質・能力に基づいたルーブリックを単元ごとに作成し、活用する。	・生徒の「問い」から始まり、「社会につながる課題」を設定する。
・フィールドワークの実施やコーディネーターを通して保護者やCS、外部機関と連携する。	・生徒が楽しいと感じるコンテンツを充実させ、魅力的な学びにする。	・分掌主任と各学年の探究担当が連携をとり、学校としての方向性に基づいた授業を行う。	・探究発表会等で得た外部からの評価を学習や指導に活かしながら、日々改善していく。	・上記に基づいた個人思考と協同学習で学ぶ探究的な授業を全教科で実施する。